約束１　市民主権システムを実現します

めざす姿

市民と行政の情報共有・対話が促進され、市民が主体のまちづくりが進められています。

めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）

	指標名	取得方法	単位	基準値	上段：年度別目標値 下段：年度別現状値 〔※( )書きは「わからない」の回答を除いた場合〕 22	23	24	25	H24目標値に対する達成率	H25目標値に対する達成率
①	市民と行政が同じ目的を持ちパートナーとしてまちづくりに取り組んでいると思う市民を増やします。	市民評価アンケート	%	13.0	15.0 20.9	20.0 31.7	22.0 28.7	25.0	○	○
②	市民参加型まちづくり１％システム支援事業数１００事業を目指します。	業務取得	件	－	－ －	100 23	100 43	100	×	―
③	「市長車座ミーティング」、「わたしのアイデアポスト」、「市政懇談会」など市民から広く意見を聞く広聴活動に満足している市民を増やします。	市民評価アンケート	%	61.3	64.0 49.7 ※(63.7)	66.0 71.5 ※(89.1)	68.0 71.3 ※(88.5)	70.0	○	○
④	広聴事業への参加者数を増やします。	業務取得	人	5,120	－ 5,551	－ 4,607	5,644 5,655	5,617	○	○
⑤	「広報ひろさき」、「市ホームページ」など市民に広く市政情報を提供する広報活動に満足している市民を増やします。	市民評価アンケート	%	73.0	74.0 68.5 ※(74.3)	75.0 83.2 ※(86.5)	76.0 84.3 ※(88.2)	77.0	○	○
⑥	公募可能な審議会等における公募実施割合100％を目指します。	業務取得	%	19.0	－ 30.0	－ 56.0	100 100.0	100	○	○
⑦	町会や公民館、地区社協などの地域活動に参加している市民を増やします。	市民評価アンケート	%	28.1	29.0 33.6	30.0 33.4	32.0 33.8	33.0	○	○

H24目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　×:目標を達成できない　ー:判断できない
H25目標値に対する達成率　○:目標を達成済み　ー:目標を達成できない・判断できない

関連指標名	取得方法	単位	上段：数値取得時期　下段：取得数値			
弘前市長選挙投票率	業務取得	%	H12.1.30 42.82	H16.2.1 50.42	H18.4.16 55.57	H22.4.11 58.06
弘前市議会議員一般選挙投票率	業務取得	%	H11.4.25 64.06	H15.4.27 57.07	H19.4.22 59.77	H23.4.24 50.83

約束全体の評価

めざす姿の達成状況を示す指標７項目について、平成２４年度の目標値に対する達成率は、「目標を達成済み」が６項目、「目標を達成できない」が１項目となっております。また、目標を達成済みの項目全てが、平成２５年度の目標値を上回る状況となっております。

注目指標である「①市民と行政が同じ目的を持ちパートナーとしてまちづくりに取り組んでいると思う市民を増やします。」については、市民評価アンケート結果により目標を達成しています。これは、市民と行政が協働して実施する全庁的な各種事業への取組みが市民へ浸透し、市民と行政が連携して、より良いまちづくりに取り組もうという意識が高まってきた結果と考えます。
また、「③「市長車座ミーティング」、「わたしのアイデアポスト」、「市政懇談会」など市民から広く意見を聞く広聴活動に満足している市民を増やします。」についても目標を達成しています。これは、広報ひろさきやホームページ等の市の広報媒体のほか、コミュニティFM放送に毎月広報担当職員が出席し、市の広聴事業の周知に努めたことで、市民の関心が高まり、満足度が増加したものと考えます。
同様に、目標を達成している「④広聴事業への参加者数を増やします。」についても、広聴事業の周知により、特に「出前講座」の需要が高まり、前年より１７回多くなっていることが、参加者数の増加につながったものと考えます。

次に個別施策の実施状況ですが、「進捗率」については、８項目のうち７項目が「工程表どおり実施済み」、１項目が「工程表より遅れている」となっており、「達成率」については、目標を設置していないために「判断できない」とした１項目を除いて、３項目が「目標を達成済み」、２項目が「順調に推移」、２項目が「遅れている」となっています。

施策の実施状況や指標全体の達成状況等を総合的に勘案すると、この約束のめざす姿のうち、前段部分の「市民と行政の情報共有・対話が促進され、」については順調に推移していると評価できますが、後段部分の「市民が主体のまちづくりが進められています。」については遅れていると評価せざるを得ません。
しかし、目標値を下回った「市民参加型まちづくり１％支援事業数」についても事業数を伸ばしていることを加味すれば、全体としては、めざす姿に向けて**おおむね順調に推移している**と考えます。
今後も、市民と行政の情報共有・対話が促進され、市民が主体のまちづくりが進められるよう、各施策に取り組んでまいります。

個別施策の実施状況

項目	事務事業数	進捗率	達成率
【市民が主体となったまちづくりを実現します】			
○１　市長の給与の決定について市民の評価などを反映	1	A	A
○２　市民参加型まちづくり１％システムを導入	1	A	C
●６　各種審議会の公募枠を大幅増　（女性や若者など多様な意見を市政に反映）	1	A	A
☆８　自治基本条例制定に向けた取り組み	1	C	C
【市民との対話を促進します】			
○３　市民評価アンケートの定期的な実施	1	A	A
○４　市長車座ミーティング、車座ランチ（市政懇談会の見直し）	1	A	B
○５　市役所内への“市民参画担当チーム”の設置	1	A	－
●７　ホームページへの携帯サイト構築、メールマガジン定期配信	3	A	B

進捗率　A:工程表どおり実施済み　B:概ね工程表どおり　C:工程表より遅れている　－:未着手
達成率　A:目標を達成済み　B:順調に推移　C:遅れている　－:判断できない

上段：年度別概算所要額（単位：千円）／下段：年度別決算額（単位：千円）			
22年度	23年度	24年度	25年度
438	68,691	67,977	67,977
643	9,913	20,428	

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容				
1-1	市長の給与の決定について市民の評価などを反映	市民主権による市政運営を徹底するために、毎年度、市政に対する市民評価の取得を行い、その結果を市長の給与に反映させる。	進捗率	平成24年度事業計画のとおり、市長給与の市民評価反映方法を決定した上で、市民評価アンケートの実施により、市政に対する市民評価の回答を集計し、その結果を市長給与に反映させた（減額しなかった）ことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
			A					
			達成率	目標は「市民評価の把握1回/年」と「市民評価の給与への反映1回/年」としており、予定どおり進捗したことから、**「目標を達成済み」**と評価した。				
			A					
			目標		H22	H23	H24	H25
			市民評価の把握 1回/年		－	1回	1回	
			市民評価の給与への反映 1回/年		－	1回	1回	
		事務事業名	決算額		0	0	0	
		特別職報酬等決定事務	今後の課題	今年度の市民評価アンケートは実施済み。 ・市民評価アンケート結果：「評価してない。＋ どちらかといえば評価していない。」 7.4%→減額なし				

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容				
1-2	市民参加型まちづくり1%システムを導入	市民主権による市政運営の徹底と市民参画の促進のために、環境美化活動、安全・防犯活動など様々な分野での自主的な活動に対して支援する。	進捗率	平成24年度より、補助対象期間を4月から実施できるようにしたほか、審査の公平性・透明性の確保のため審査方法を採点方式に変更し実施したことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。				
			A					
			達成率	目標は、「支援事業数100件／年」としているが、平成24年度の実績は、43件に留まったことから、**「遅れている」**と評価した。				
			C					
			目標		H22	H23	H24	H25
			支援事業数 100件/年		－	23	43	
		事務事業名	決算額		0	8,346	15,663	
		市民参加型まちづくり1%システム事業（※1）	今後の課題	エリア担当制度を活用しながらニーズの掘り起こしを図るとともに、制度の理解を深めるための実践セミナーや講演会の開催などのPRの促進、市民がより活用しやすいシステムづくりを進めていく。				

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容				
1-3	市民評価アンケートの定期的な実施	市政に対する市民の評価を把握し、施策の企画・改善等に活用するために、毎年度、同じ時期に郵送によりアンケートを実施する。	進捗率	平成24年度は、アンケートを実施（作成、郵送、集計及び公表）した。16歳以上の市民6,000人を無作為に抽出して、平成24年5月にアンケートを郵送し、集計の上、その結果を8月に公表したことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。				
			A					
			達成率	目標を「アンケート回答者数」としているが、目標の回答者数2,000人に対し、2,135人から回答を得たことから、**「目標を達成済み」**と評価した。				
			A					
			目標		H22	H23	H24	H25
			アンケート回答者数 2,000人/年（送付人数6,000人）		－	2,130	2,135	
		事務事業名	決算額		0	958	2,183	
		市民評価アンケート事業	今後の課題	施策の企画・改善等に活用していることを積極的にPRし、回収率のさらなる向上を図るとともに、市民に分かりやすく公表する。				

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
1-4	市長車座ミーティング、車座ランチ（市政懇談会の見直し）	進捗率 A	施策を構成する2事業について、それぞれ「工程表どおり実施済み」との評価になっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	施策を構成する2事業について、1事業が「概ね順調に推移」、1事業が「遅れている」となっており、うち1事業はほぼ目標値に達していることから、施策全体として**「概ね順調に推移」**と評価した。

	H22	H23	H24	H25
決算額	0	0	0	

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
市民との対話により情報を共有し、共に考えて、施策へ反映させていくために、少人数の市民グループを対象として、市長と直接話し合う機会を作る。	市長車座ミーティング、車座ランチ事業	進捗率 A	市長車座ミーティング、車座ランチともに参加市民グループの公募を行い、車座ミーティングを11回開催し、開催結果は、市ホームページで公表した。また、4件の施策への反映が図られたことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	目標の「参加者数96人（H24）」に対して、最終的に参加者数が95人となった。このことから、**「概ね順調に推移」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
参加者数　96人(H25)、96人（H24）	82人	115人	95人	
【参考】施策への反映件数　5件/年	0件	6件	4件	

今後の課題	車座ミーティング、車座ランチを継続していく上で、参加団体の掘り起こしに課題がある。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
地域を主体に、市民との意見交換を施策へ反映させていくために、市政懇談会の運営について、市町会連合会と協議し、意見交換の内容がより充実するよう工夫する。	市政懇談会	進捗率 A	9地区で開催し、結果の公表、施策への反映等従来のとおり継続して実施したことから**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 C	目標は、「参加者数405人（H24）」としているが、327人に留まった。このことから、**「遅れている」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
参加者数　378人(H25)、405人（H24）	378人	312人	327人	
【参考】提案件数　170件/年	161件	130件	170件	

今後の課題	参加者の増加を図るため、開催日時等について、市町会連合会と協議していく必要がある。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容				
1-5	市役所内への“市民参画担当チーム(※2)”の設置	市民が主体の市政運営を実現するために、市民参画やボランティア活動などを支援する専任チームを設置するとともに、エリア担当制度も活用し、市民との協働事業の推進を図る。	進捗率 A	平成23年4月より、市民参加・協働に関する窓口として市民参画センター内に「市民との協働推進室」を設置し、市民参加型まちづくり1%システムの実施やボランティア活動の支援、男女共同参画の推進などで、庁内関係課へのコーディネートなどを行った。平成24年度4月には、業務の効率化を図るため、一部機能を本庁舎に移転し、課名を「市民との協働推進課」に改めた。また、エリア担当職員と連携しながら、町会への制度の周知に努めたことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。				
			達成率 －	組織の設置であり、目標を設置していない。				
			目標		H22	H23	H24	H25
			－		―	―	―	
		事務事業名	決算額		0	0	0	
		市民参画担当チーム(市民との協働推進室)設置	今後の課題	市の市民活動へのサポート窓口について、市民参加型まちづくり1%システム事業が徐々に浸透しつつあることから、市民活動の最初の相談窓口として活用していただくための支援体制の整備に努めていく。				

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容				
1-6	各種審議会の公募枠を大幅増(女性や若者など多様な意見を市政に反映)	市政への市民参画を促進し、協働による行政運営を推進するために、公募枠の新設が可能な審議会等を特定し、個別の改選時期にあわせて、女性や若者の枠についても配慮しながら、公募枠の拡大を図る。	進捗率 A	平成22年度から引き続き、新設又は員改選が行われる審議会等で、公募が可能なものについては、公募枠を設置し、女性・若者の選任についても可能な限り考慮しながら公募を実施した。 また、女性・若者の選任を推進するため、「附属機関等の管理に関する指針」の中に、年齢・性別の均衡化に関する具体的記述を入れる改訂を行った。 公募が実施可能な審議会等については、全て公募が実施されたため、進捗率については**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
			達成率 A	目標は「公募可能な審議会等における公募実施割合」で、平成25年4月1日現在では、公募可能な審議会等22団体全てが公募を実施(1団体のみ応募者無し)していることから、**「目標を達成済み」**と評価した。				
			目標		H22	H23	H24	H25
			公募可能な審議会等(※3)における公募実施割合　100%(H25)		30%	56%	100%	
		事務事業名	決算額		0	0	0	
		各種審議会等関係事務	今後の課題	公募可能な審議会等での公募実施割合100%を継続していく。				

No.	項目	自己評価	平成24年度実施内容
1-7	ホームページへの携帯サイト構築、メールマガジン定期配信	進捗率 A	施策を構成する3事業については、それぞれ「工程表どおり実施済み」との評価となっていることから、施策全体としても**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 B	施策を構成する3事業について、2事業が「目標を達成済み」、1事業が「概ね順調に推移」となっていることから、施策全体として**「概ね順調に推移」**と評価した。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
市民との情報共有を促進するために、ホームページなどインターネットを活用した次の取り組みを行う。 (1)新たに携帯サイトを構築する。 (2)市政情報のメールマガジンを定期的に配信する。 (3)ホームページの充実を図る。	(1)携帯サイト構築事業	進捗率 A	各課から情報配信ができるよう、システムを更新し、12月から運用を開始したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
		達成率 A	目標は「携帯サイトのアクセス数180,000件（H24）」としているが、平成24年度は371,723件となっていることから**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24	H25
携帯サイトのアクセス数 200,000件（H25） 150,000件（H23）、180,000件（H24）	－	185,594件	371,723件	
決算額	643	0	177	

今後の課題	―

事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容
(2)メールマガジン配信事業	進捗率 A	現登録者へのアンケートの実施は行わなかったが、代わりに市内小・中学校に周知を行ったので、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。
	達成率 B	目標は「メールマガジン登録件数1,500件（H24）」及び「メールマガジン配信回数1回/週」としているが、前者は514件に留まったものの、配信回数は目標どおり週1回以上行ったことから**「概ね順調に推移」**と評価した。 なお、平成25年8月26日現在のメールマガジン登録件数は958件、フェイスブック「いいね！」の取得件数は983件で、合計1,941件となっている。

目標	H22	H23	H24	H25
メールマガジン登録件数 1,900件（H25） 500件（H23）、1,500件（H24）	―	514件	872件	
メールマガジン配信回数 1回/週	―	1.1回/週	1.3回/週	
【参考】メールマガジン登録件数+フェイスブック「いいね！」取得件数　1,900件（H25）	―	―	―	
決算額	0	609	0	

今後の課題	少しずつではあるが、メールマガジンの登録件数は増加していることから、平成25年度の最終目標達成のためには、他の広報媒体によるPRを要する。

実施内容	事務事業名	自己評価	平成24年度実施内容				
市民との情報共有を促進するために、ホームページなどインターネットを活用した次の取り組みを行う。 (1)新たに携帯サイトを構築する。 (2)市政情報のメールマガジンを定期的に配信する。 (3)ホームページの充実を図る。	(3)ホームページ充実	進捗率 A	ミラーサイトを構築し、9月から運用したことから、**「工程表どおり実施済み」**と評価した。				
		達成率 A	目標は「ホームページアクセス数1,400,000件」としているが、平成24年度のアクセス数が1,668,247件となっている。このことから、**「目標を達成済み」**と評価した。				
		目標		H22	H23	H24	H25
		ホームページアクセス数　1,400,000件(H25)		1,012,809件	1,167,443件	1,668,247件	
		決算額		0	0	334	
		今後の課題	総ページ数及び更新回数の増加においても情報掲載の速度を落とさないためには、職員が自身でホームページを作成できるシステムの導入を検討していく必要がある。				

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容				
☆ 1-8	“自治基本条例(※4)”制定に向けた取り組み	市民が主体の協働によるまちづくりを促進するため、市民・議会・行政が情報を共有し、共にまちづくりに取り組んでいくためのルールや仕組みを定めた自治基本条例を制定する。	進捗率 C	平成24年度は、提言書案（中間報告書）の作成に向け、6月に弘前市自治基本条例市民検討委員会を設置し、同委員会において審議したが、広範に踏み込んだ議論をしており、結果として提言書案（中間報告書）の作成に至らなかったことから、**「工程表より遅れている」**と評価した。				
			達成率 C	目標を「提言書案(中間報告書)の作成」としているが、そのための審議に留まり、提言書案（中間報告書）の作成に至らなかったことから、**「遅れている」**と評価した。				
				目標	H22	H23	H24	H25
				提言書（案）の作成	―	－	－	
		事務事業名		決算額	0	0	2,071	
		弘前市自治基本条例制定事業	今後の課題	弘前市自治基本条例市民検討委員会において、7月29日に提言書案（中間報告書）が作成・提出されたことから、今後の工程（市民意見の集約）を効率的に行い、工程表の遅れを取り戻すよう努める。				